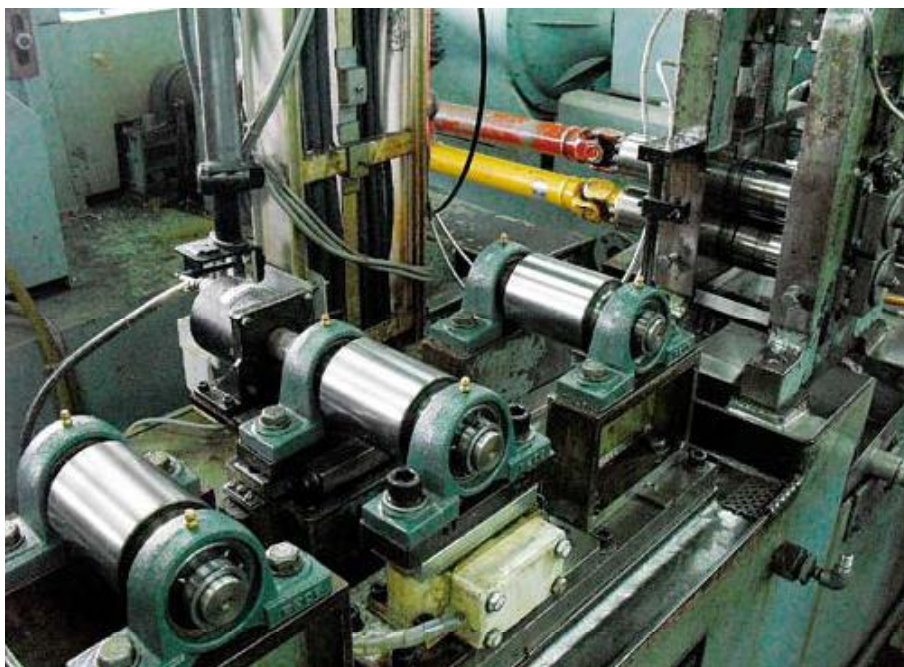


大同化学工業株式会社

金属加工油剤で世界のものづくりを支える

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力有
- コスト相談
- オンライン見積
- メイドインジャパン
- 試作可
- 小ロット
- 産地直対



滑り圧延式潤滑評価試験機

業務内容

業界や技術の変化に対応した油剤開発

金属加工油剤を通じて、日本のみならず世界の経済成長を支えてきた大同化学工業。ものづくりには欠かせない副資材メーカーとして各業界に貢献してきた。金属加工油剤は加工材の種類、方法、変形度合等によって使用油剤が異なるため、クライアントの要望をもとに高い開発力と長年かけて積み上げたノウハウを活かし、最適な油剤を開発し、提供している。

世界一とも称される日本の金属加工技術の進化は速く、新素材や新工法が次々と生まれ、オーダーも変化する。クライアントの要望に応え続けたからこそ、同社の今がある。

強み

要望やニーズに応え続ける開発力が強み

開発競争、コスト競争、対環境法規制に対応して常に技術革新を図る顧客のニーズに応え続けていること自体が、同社の強みだ。特に抜きんでているのは冷間鍛造加工に使用する潤滑剤の分野。同社の高性能潤滑剤を用いることで、従来よりも高精度の製品が製造できるだけでなく、金型の使用回数増加や工程削減など製造コストの削減も実現できるとして、同社の潤滑剤は各業界から高い評価を得ている。

製品開発

試験機器の導入でより高性能の製品を提供

顧客のニーズに期待値以上の成果で応えるべく、研究開発に注力する同社。開発にあたってはサンプルをつ

り、試験をして改良を重ねる。「製品開発には、潤滑性の評価等、性能評価が非常に大切です」と黒川社長が話すように、ユーザーの期待に沿うには試験・機能評価と結果のフィードバックが重要だ。

同社では試験機等、大型で高性能のシミュレーション装置を導入。スピード、発生する熱、原料や道具の大きさ等、実際の動作環境に近い状態で試験環境を整えている。開発力と試験装置の活用により、短期間で高機能な製品が提供できるのだ。



熱間加工潤滑剤開発に使う試験機

環境

無限の中から環境に配慮した製品を見つけ出す

環境に配慮した製品づくりにも尽力する。塩素系添加物を使用しない加工油剤や生分解性に優れた水溶性油剤の開発等、今後はより環境に悪影響を与えない金属加工油剤の開発・提供を進めていく。「有機化学は無機化学です」と黒川社長。有機物である油剤は、分解・合成することで無限の組み合わせが生まれると考えている。油剤には、無限の組み合わせと可能性があり、クライアントからのどんなニーズや要求にも無限の製品のいずれかで応えられる。この信念を活かし、最適な油剤を提供して産業を支えるのが目標だ。

COMPANY PROFILE

大同化学工業株式会社

ISO 9001
ISO 14001



昭和13年の創業以来、金属加工油剤を中心とする油剤の製造・販売に携わってきました。機械加工やさび止め等に使われる油剤は、ものづくりには欠かせません。長年かけて、日本や世界のものづくりを縁の下で支えてきたつもりです。「お客様が一番です」をモットーに、難しいご要望に対しても決して「できない」とは言わず、応え続けていきたいと考えています。

「お客様が一番です」がスローガン。「できない」とは絶対に言いません。

代表取締役社長 黒川 一さん



■主な事業内容

金属加工油剤、表面処理油剤、剥離剤、作動油、離型剤の製造・販売等

■主な取引先(納入先)

大手鉄鋼メーカー、非鉄メーカー、自動車メーカー、自動車部品メーカー、電機メーカー等

住所/〒530-0001
大阪市北区梅田
1-2-2-1400
大阪駅前第2ビル14F
TEL/06-6346-5111
FAX/06-6344-0888
創業/昭和13年3月
設立/昭和22年3月
資本金/2億5,000万円
従業員/175名

<http://www.daido-chemical.co.jp/>